

令和7年度 2学期

別紙様式1-2

【 上下 】 学校 標準学力調査について

【中学校・後期課程】

■ 調査目的

- 府中市内の中学校・後期課程生徒の学習状況を調査し、学習指導要領に定められた学習内容の定着状況を把握するとともに、今後の学力向上および指導の改善に資する。本調査は学年及び教科の違いはありますが、数万人～数十万人の生徒が調査に参加しています。

■ 調査内容

- 調査目的に基づき、学習指導要領に定める内容について、基礎・基本および活用の力を測る問題で構成されています。

■ 調査対象

- 府中市内の公立中学校1・2年生の生徒（grade7・8の生徒）
- 調査対象教科は、国語・社会・数学・理科・英語

■ 調査結果

【中学校・後期課程の調査結果】

		自校全体 平均正答率 (%)	目標値 (%)	府中市全体 平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)
中学校 1年生	国語	51.0	60.4	59.6	63.0
	社会	53.2	55.2	49.0	55.9
	数学	40.8	56.8	52.7	57.0
	理科	63.8	56.6	51.9	57.6
	英語	48.7	52.4	50.1	51.9
中学校 2年生	国語	74.0	65.8	72.6	70.2
	社会	57.2	51.8	52.0	52.6
	数学	45.7	50.8	50.0	50.5
	理科	67.1	52.7	50.9	50.5
	英語				

【中学校2年生英語の調査結果が記載されていない理由について】

令和7年度第2回標準学力調査の中学校2年生英語は、昨年度中学校2年生理科に引き続き、端末を利用したCBT（Computer Based Testing）方式で実施しました。

事前に模擬テストを行っていましたが、システムの安定性、端末の使用環境等に不備が生じたと推察され、一部の生徒の成績データに正確性を欠く可能性が生じたため調査結果を記載していません。

【用語について】

【正答率】：各設問の正答率は、その設問に正答した児童生徒の割合を示したものです。

【目標値】：学習指導要領に示された内容について標準的な時間をかけて学んだ場合、設問ごとに正答できることを期待した児童生徒の割合です。